



## みんなの声でつくる 未来の図書館

社会が変化する中で、これからの図書館のあり方が検討されるようになっていきます。  
飛騨市図書館でも、デジタル書籍の普及やコロナによる生活スタイルの変化などによる利用者の減少といった課題があります。そこで、2024年6月から「図書館改革」を行い、さらに使いやすく、多くの人が楽しめる図書館となるためにさまざまな取り組みを実施しています。

### 図書館にどのようなイメージがありますか？

「無料で本を読んだり借りたりできる」「昔の本や最近の本、郷土資料などがたくさんある」「みんな静かに本を読んだり勉強したりしている」・・・その通りです。飛騨市図書館も開館から15年が経ちますが、そうした皆さんのイメージに違わない運営を行ってきています。

しかし、この15年の間に図書館をめぐる状況にも変化がみられるようになり、そうしたイメージを覆す運営が全国の図書館で始まっています。

### 図書館の役割はなんだろう？

「寝転がったり、家族や友人とおしゃべりしながら読書や勉強ができる」「館内の一角にカフェを併設し、館内の本を持ち込んで、お茶を楽しみながら読むことができる」「施設をサークル活動や市民の交流の場として使える」など、さまざまな取り組みが実際に行われており、好評を得ている事例もあります。

その背景には、コロナ禍やデジタル書籍の普及などによる図書利用数の減少といった課題があります。

来館者数や図書利用数の減少といった表面上の数字だけをもとに分析すると、「近年はその利用価値が低下している」と判断されがちです。

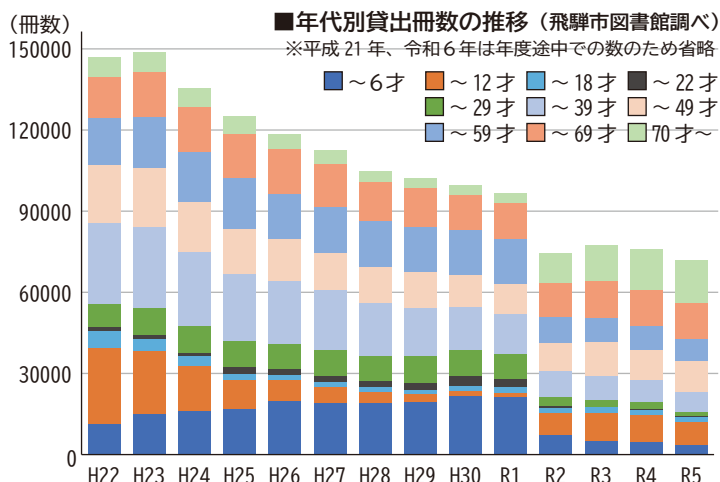
ただ、図書館の役割はそれだけではありません。記録資料の保存・蓄積を通じて文化の継承や発展に寄与する役割、知識や情報の伝播、人々のコミュニケーションの媒介、住民の調査研究の支援など、さまざまな役割を地域の皆さんへ平等に果たすことが求められています。そして

その役割の中身も、時代によって変化していくと考えられています。

### 新しい図書館のあり方をみんなで考えましょう

そうした中、図書館を未来へつないでいくためにどうすればいいのかと、危機感が高まっており、全国の図書館でさまざまな試行錯誤が行われているところです。

飛騨市図書館でも、この15年の社会の変化を振り返り、今年度を「図書館改革」元年と考え、新たな試行錯誤を始めました。これまで利用してくださった皆さんの声とともに、これまで利用していなかった皆さんの声も真摯にうかがい、「こう変われば図書館を利用したい」「寄ってみたい」と思っていただけのような施策や、市民同士の「出会いの場」となれるような図書館づくりを目指していると考えています。



## 知っていますか？「図書館改革」

今年6月に第1弾、8月に第2弾として「おしゃべりOK」「飲み物OK」など新たな取り組みが始まっています。新しい図書館の活用法をルールを守って楽しんでください。

### おしゃべりOK！



お話を楽しんだり、お友達との待ち合わせにも。子どもも障がいのある人も気にせず使えます。静かに読書や勉強をしたい人は「情報発信室」のご利用を。

### 飲み物の持ち込みが全フロア可能に



今までは2階フロアのみでしたが、1階も持ち込みOKになりました。飲み物はふた付きの容器に入れてご利用ください。

### グループ学習席ができました



仲間同士、教え合いながらテスト勉強ができる4人掛けのテーブルを2階フロアに設置しました。大人の方も使えます。

### 情報発信室の利用がフリーに！



サービスカウンターでの申し込みが要らなくなりました。空室時は誰でも使えます。静かさ確保のため、PCや電卓など操作音の出るものは持ち込みできません。

### 個人ブースができました



2階の仕切りのあるブースが自由に使えます。フリーWi-Fiもありますので、仕事や読書、勉強、ゲームなど集中したいときに1人で使えます。

### 「観るふるさと」コーナーができました



1階にあった飛騨市の映像資料を2階へ移動し、DVDプレーヤーも併設し、その場で見られます。視聴コーナーの利用はサービスカウンターでお申し込みを。



新たな取り組みに対してアンケートと取材を実施しました。寄せられた主なご意見を紹介します。皆様のご意見を参考に議論・検討を重ねて、より良い図書館の姿を模索していきます。

#### ●図書館アンケートより（2024年6月実施）

- ・子どもが試験期間中に勉強するためにいつも利用しています。おしゃべりOKや1、2階での飲み物OKで今までよりリラックスした環境で勉強ができるようでありがたいです。カフェも楽しめました。（古川/50代）
- ・誰にでも開かれた図書館であり時代の潮流もあることは理解出来なくはないが、おしゃべり出来る場所になるのは少し違和感を感じます。静かな環境だからこそ読書に没頭出来る人も少なからずいるはずです。（神岡/50代）

#### ●飛騨市図書館利用者への取材より（2024年12月実施）

- ・週末に小学生の子どもと図書館に来館します。おしゃべりOKになったことで、気軽に子どもと一緒に来館できるようになったと感じています。また以前に比べて、子どもが前向きに図書館を利用して本を読みたいと思うようになっているのでとてもいいことだなと思います。（古川/30代）
- ・喫茶店などの知り合いと集える場所が市内に減少しているように感じているので、来館するハードルを下げることは良いことだと思います。さらにハードルを下げるという意味では漫画などもあると幅広い方が本に興味を持ってくれるようになるのではないのでしょうか。（古川/70代）

# 飛騨市の「図書館改革」とは？

飛騨市図書館 副館長 <sup>にしくら</sup> <sup>さちこ</sup> 西倉 幸子さん



## ●「改革」を打ち出した背景は？

飛騨市図書館は開館から15年が経ちます。この間、社会はさまざまな面で変化しましたが、図書館は変わっていないのではないかと議論があるんです。

特に大きな社会変化はコロナ禍です。生活様式の変化や休館時期もあったことから、利用者が激減しました。でも、コロナ禍が明けても、利用者は以前の8割弱ほどしか戻ってきていないんですね。

コロナ禍で図書館の利用パターンが変わり、訪れる回数も減ったと考えています。例えば、親子連れです。以前は子どもが本に親しむ場所として図書館を利用していたいていましたが、やはりコロナ禍で来館しづらくなり、これまでの流れが途切れてしまったようです。実際、0～3歳の利用率は低下しているんです。

また、開館以来「図書館では静かにする」ことが強調されすぎたこともあり、「はしゃいだり声をあげがちな子どもは連れて行きづらい」という声もありました。静かにしないといけなから子連れでは行かないし、使わないし、怖い印象もある。

でも、子どものころや若い時から本に慣れ親しむ習慣が途切れてしまえば図書館は先細りです。ですから、こうした親さんにも気兼ねなく来てもらいたいという思いもあって「改革」を決めました。

図書館はそもそもが赤字施設なので、自治体に余力や理解がないと無くなってしまうこともあります。実際に無くなってしまう図書館は全国にあるので危機感を持っ

ているところです。

## ●どのような取り組みを目指しますか？

もっと利用していただくためには、本好きの皆さんの他にも、学生や子育て世代の方などにも気楽に来館していただきたいと考えています。

飛騨市図書館はアニメ映画『君の名は。』の聖地として観光客の来館も多いですから、館内で友人と話したいという人もいます。これまでのイメージを覆し、「図書館でしゃべってもいいんだよ」と呼びかけることで、今まで来られなかった人も来れるようになるんじゃないか。図書館を「友人や地域の人と会う場所」にすることで、もっと来館してもらえないかと。その結果として図書の貸し出し数などが増えるといいなと考えています。

## ●取り組みをはじめて変化したことは？

「図書館は静か」というイメージが強いので、「おしゃべりOK」の取り組みは話題になりましたし、おおむね好意的な声をかけていただけています。数字ですべて見られるわけではないですが、利用者も増えてきたと感じています。特に子育て世代と学生は増えたと感じているところです。

ただし、実施後のアンケートで「静かな方がいい」という声もありましたので、実践する中で分かってくる問題にしていねいに向き合い、きちんと議論を重ねて、常に良い方向を目指して変わっていける図書館でありたいです。

## ●今後の課題は？

中高生は自習やテスト勉強などで利用できますし、子育て世代は絵本などを読んだり借りたりするために子どもと一緒に訪れる機会がありますが、その間の20代独身世代の利用が抜け落ちてしまいがちなんですね。もちろん、高齢者や障がい者にも使いやすい場所であることも重要だと考えていますが、ここを何とかしたいという思いがあります。

読書や図書館に不慣れな人が、本に親しむ以外にも来館するようなモチベーションが得られるよう、まずは気軽に来館して楽しめる図書館を目指したいです。

来年度、市内図書館の運営などに関する意見をまとめ、「飛騨市図書館運営方針」の改定案策定を進めていく計画です。これに向けてワークショップなども行い、皆さんの意見や方向性などを取りまとめていきます。そこで、まずは今年、既存の施設を活用しながらも「図書館は大きく変わる」というイメージを発信したいと考え、「図書館改革」と銘打って周知をしています。図書館に関心をもって利用していただき、意見もいただきながら、今後の飛騨市図書館の方向性を探り、未来の図書館づくりに取り組んでいく予定です。